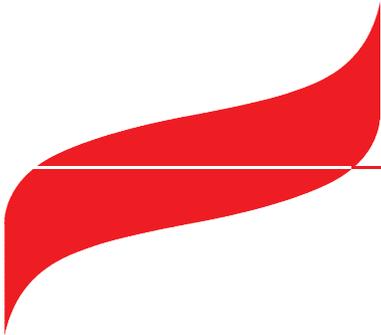


2022年3月期 第3四半期 決算補足資料

2022年2月9日
シダックス株式会社
(JASDAQスタンダード：4837)



シダックスグループ連結決算概要

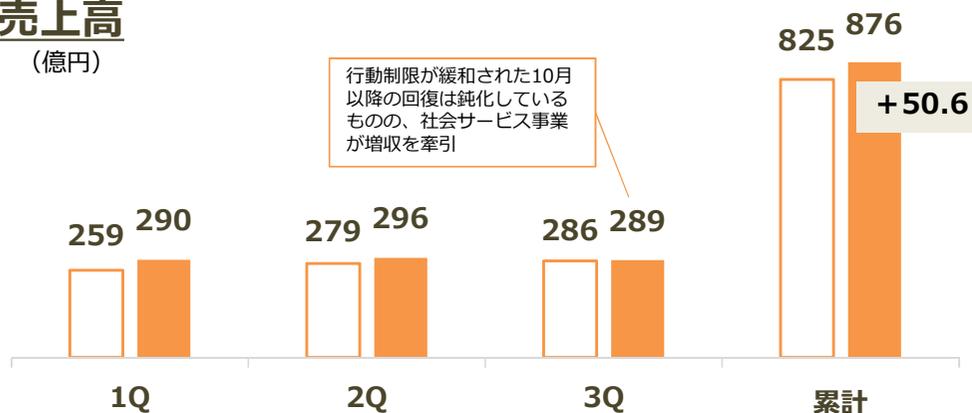
連結決算概要

(百万円)	21/3 3Q	22/3 3Q	前期比	増減	要因
売上高	82,556	87,622	106.1%	+5,066	社会サービス +3,417、フードサービス +1,286
売上総利益	9,865	11,417	115.7%	+1,552	原価率 前期88.1% 当期87.0%
販管費	9,135	9,192	100.6%	+56	
営業利益	729	2,224	305.0%	+1,495	不採算部門の整理等 +332 全社費用減少 +589
営業外収益	348	217	62.2%	▲131	
営業外費用	286	229	80.0%	▲57	
経常利益	791	2,211	279.5%	+1,420	
特別利益	545	3,627	664.7%	+3,081	固定資産売却益 3,406
特別損失	640	811	126.7%	+171	減損損失 689
税前利益	696	5,027	721.7%	+4,331	
法人税等	311	578	185.6%	+266	繰越欠損金あり
親会社株主に帰属する 四半期純利益	385	4,449	1,155.6%	+4,064	

四半期推移

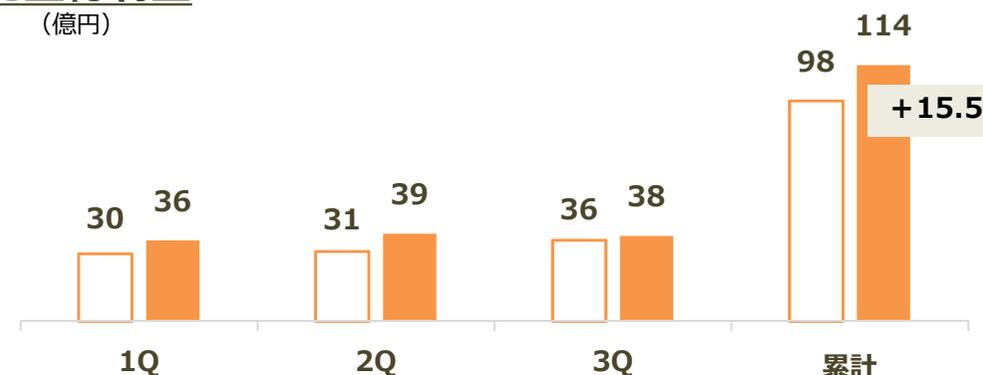
売上高

(億円)



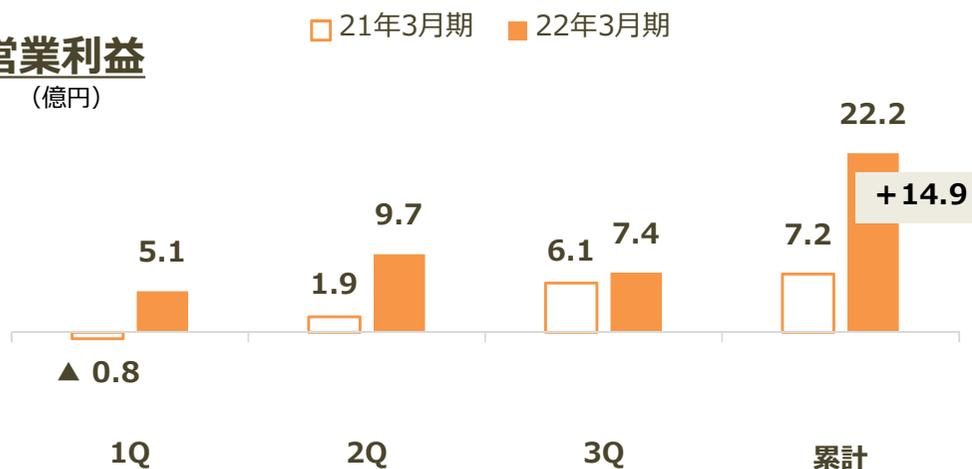
売上総利益

(億円)



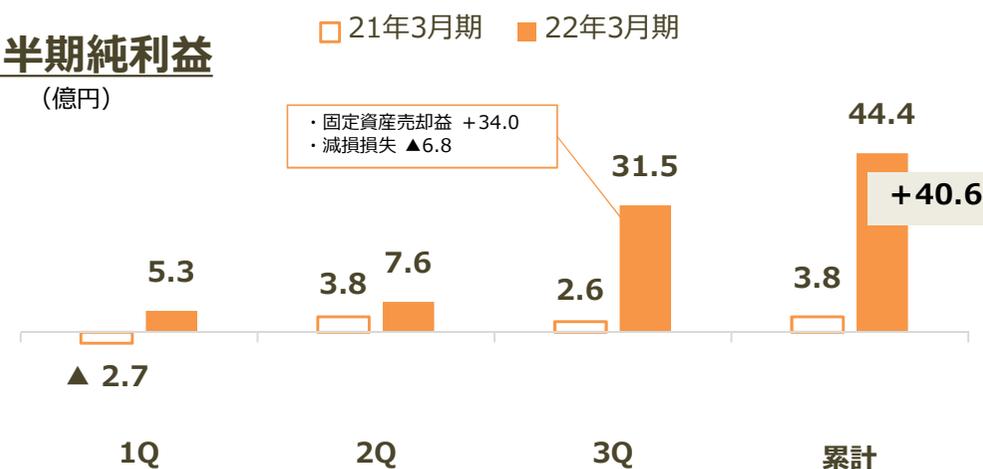
営業利益

(億円)



四半期純利益

(億円)



B/Sサマリ 関連指標

(百万円)	21/3 期末	22/3 3Q	増減
資産	39,913	36,132	▲3,781
負債	32,392	24,449	▲7,943
純資産	7,520	11,683	+4,163
有利子負債残高	8,791	6,090	▲2,701
ネット有利子負債	▲1,963	▲1,572	+391
D/Eレシオ (倍)	1.17	0.52	▲0.65
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.26	▲0.13	+0.13
現金及び現金同等物残高	10,754	7,662	▲3,092
自己資本比率 (%)	18.8	32.3	+13.5pt

今後の見通し

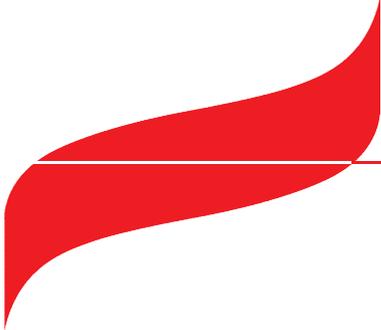
- 2022年3月期の連結業績予想は、前回（8/6）公表から変更ございません。

(百万円)	21/3	22/3 通期予想	前期比	増減
売上高	110,148	116,957	106.2%	+6,809
営業利益	690	2,327	337.0%	+1,637
経常利益	893	2,177	243.7%	+1,284
親会社株主に帰属する 四半期純利益	630	1,803	286.1%	+1,173

■ 据え置き理由

当社グループでは、再成長戦略「Re-Growth」の実現に向け、引き続き事業の選択と集中及び財務体質の強化を推し進めております。今後も固定資産の売却等による特別損益の計上を見込んでおりますが、現時点では未確定の内容も多く現在精査を行っております。

また、原材料価格の高騰や新たな変異株による新型コロナウイルス感染症拡大の影響を算出するには不確定要素が多く、現時点で合理的な算出が困難であることから、改めて業績予想の算出が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。



事業セグメント決算概要

事業セグメント 決算サマリ

(百万円)	セグメント	21/3 3Q	22/3 3Q	前期比	増減	
■	フードサービス	売上高	38,758	40,044	103.3%	+1,286
		営業利益	1,486	2,076	139.7%	+589
■	車両運行サービス	売上高	15,952	16,348	102.5%	+396
		営業利益	1,260	1,380	109.5%	+120
■	社会サービス	売上高	24,706	28,124	113.8%	+3,417
		営業利益	1,472	1,345	91.4%	▲127
	その他	売上高	4,278	3,854	90.1%	▲424
		営業利益	▲582	▲249	-	+332
	消去・全社費用	売上高	▲1,139	▲748	-	+390
		営業利益	▲2,908	▲2,328	-	+579
	連結計	売上高	82,556	87,622	106.1%	+5,066
		営業利益	729	2,224	305.0%	+1,495

セグメント別 フードサービス事業

売上高

(億円)

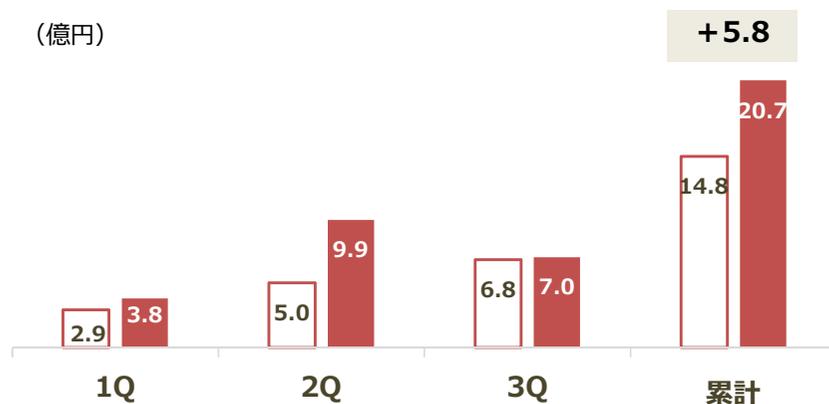


【売上高】 12.8億円の増収 1Q/+11億円 2Q/+5億円 3Q/▲3億円

- (+) コロナ禍の影響が限定的となり、既存店売上が増加
- (+) アドホックなイベント等の受託による増収
- (-) 依然として一部の施設において、リモートワークやオンライン授業等の普及により喫食者の減少が継続

営業利益

(億円)



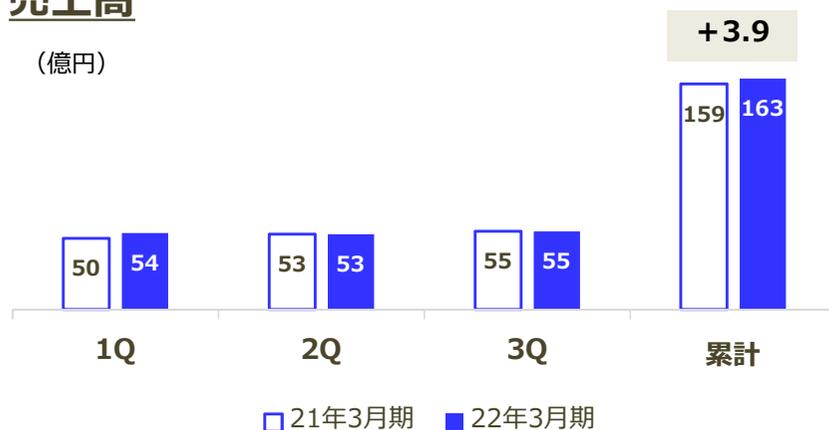
【営業利益】 5.8億円の増益 1Q/+0.8億円 2Q/+4.8億円 3Q/+0.1億円

- (+) コロナ禍における運営ノウハウの習得によるコストコントロールが奏功
- (+) 既存店における赤字店舗の撤退、低迷店舗の改善
- (-) 原材料価格の高騰によるコスト増

セグメント別 車両運行サービス事業

売上高

(億円)



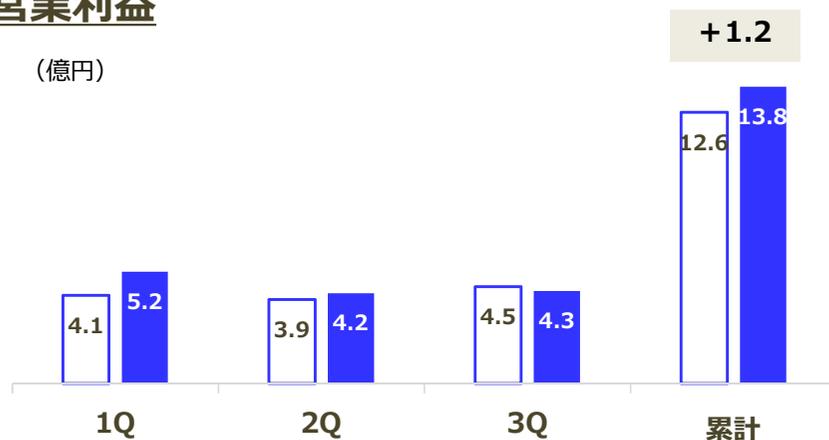
【売上高】 3.9億円の増収 1Q/+4億円 2Q/▲0.3億円 3Q/+0.3億円

(+) 旅客部門の新規増車と臨時便等による増収

(-) 役員車両部門の減車影響に加え、時間外等のその他売上高が減少

営業利益

(億円)



【営業利益】 1.2億円の増益 1Q/+1.1億円 2Q/+0.2億円 3Q/▲0.2億円

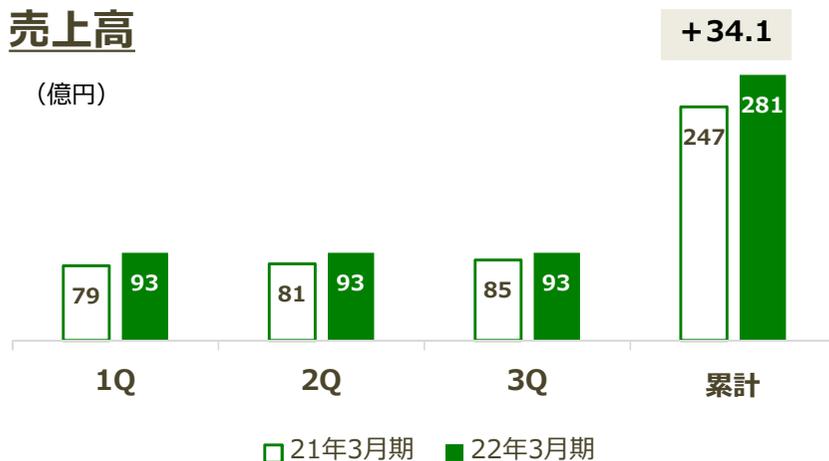
(+) 役員車両部門の減益を一般車両・旅客部門の増益でカバー

(-) 燃料単価の高騰によるコスト増

セグメント別 社会サービス事業

売上高

(億円)



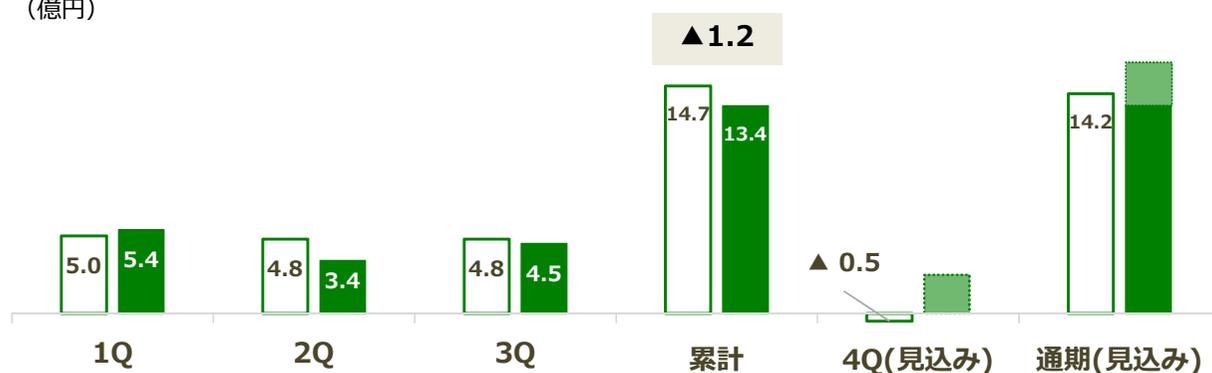
【売上高】 34.1億円の増収 1Q/+13億円 2Q/+11億円 3Q/+8億円

- (+) 学童保育の新規クラス数252件の受託件数増加より大幅増収
- (+) 自治体案件が堅調に推移
- (+) ワクチン集団接種の会場運営など新たな業務を獲得
- (-) 緊急事態宣言の影響により観光・レジャー施設が弱含み

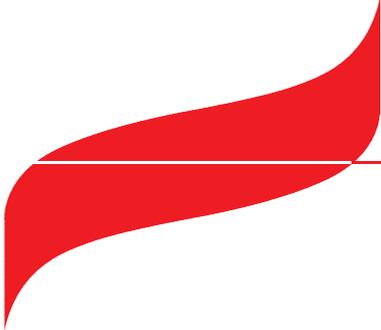
【営業利益】 1.2億円の減益 1Q/+0.3億円 2Q/▲1.4億円 3Q/▲0.2億円

営業利益

(億円)



＜補足説明＞ 3Q累計期間は、増収減益となっておりますが、**計画通り順調に推移**しております。前期4Qにおいて、コロナ禍の特殊要因による費用精算を行っており、前期4Qは▲0.5億円の営業赤字となっております。一方で当期は、その影響はなく営業黒字を確保できる見通しであり、通期の着地は計画通り増益を見込んでおります。



ビジネスモデルと事業概況

事業領域の沿革

過去の事業領域



現在の事業領域



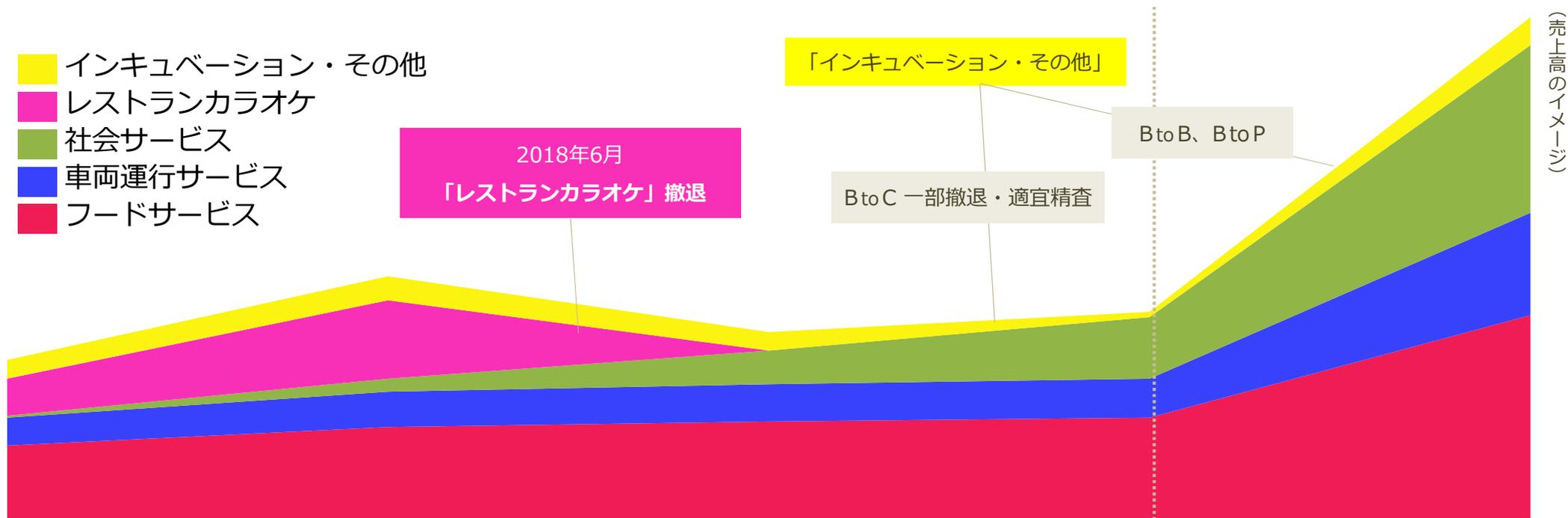
- インキュベーション・その他
- レストランカラオケ
- 社会サービス
- 車両運行サービス
- フードサービス

2018年6月
「レストランカラオケ」撤退

「インキュベーション・その他」

BtoC 一部撤退・適宜精査

BtoB、BtoP



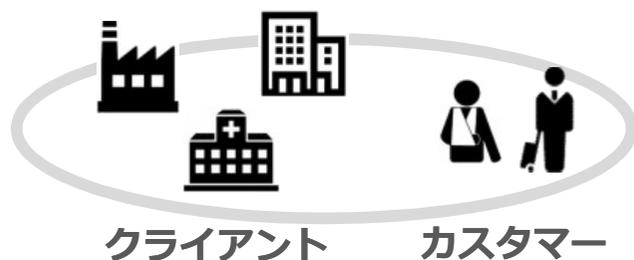
(売上高のイメージ)

ビジネスモデル

B to B、B to Pに特化した「アウトソーシングサービス」を基軸とし
クライアントの“場”において、クライアントの顧客の皆様へサービスを提供するモデル

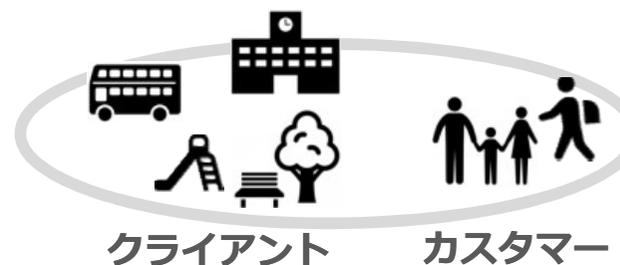
B to **B**usiness

- 企業
- 従業員
- 病院・福祉施設
- 患者・入居者
- 幼稚園・保育園
- 園児



B to **P**ublic

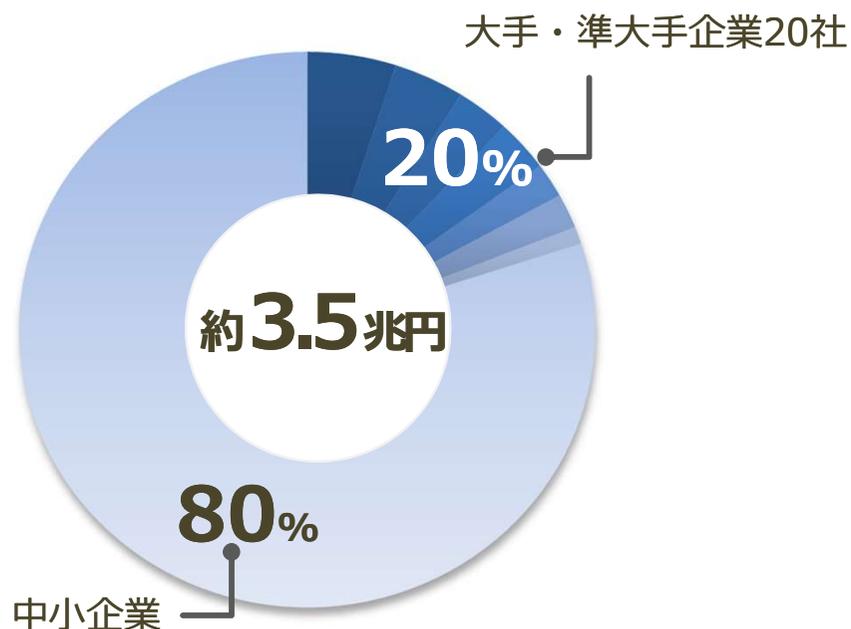
- 国・自治体
 - 住民
 - 公立学生
 - 観光客
- (“場”はさまざま)



市場環境とポジショニング

フードサービス事業（集団給食）

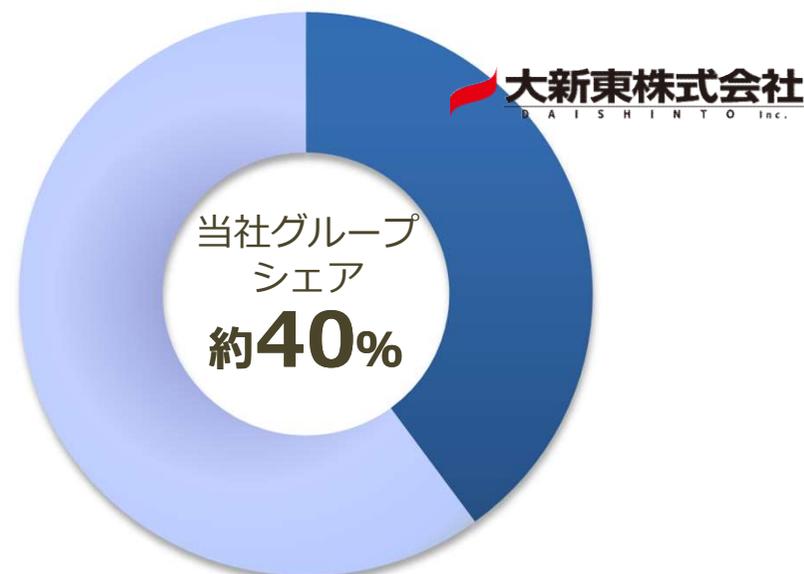
参入企業の99%が中小企業で、最大手群でもシェアは5%程度と分散化された市場であり、今後は緩やかに寡占化すると見られるため、規模拡大余地が大きい



出所：日本フードサービス協会「外食産業市場規模推計」、当社調べ

車両運行サービス事業（自家用車両運行管理）

自治体や大企業の役員車、公用車のニーズに支えられた安定市場に加え、自治体におけるコミュニティバスの運行などは、今後も路線拡大や運行台数増加が見込まれ市場成長の余地が大きい



※グラフのシェアは「役員車両」市場
出所：当社調べ

市場環境とポジショニング

社会サービス事業（学童保育）

「省令基準」に則った学童保育の量的な拡大と質的な拡充が急務であり、民間委託率が大幅な増加基調の拡大市場

学童保育「支援の単位」の推移



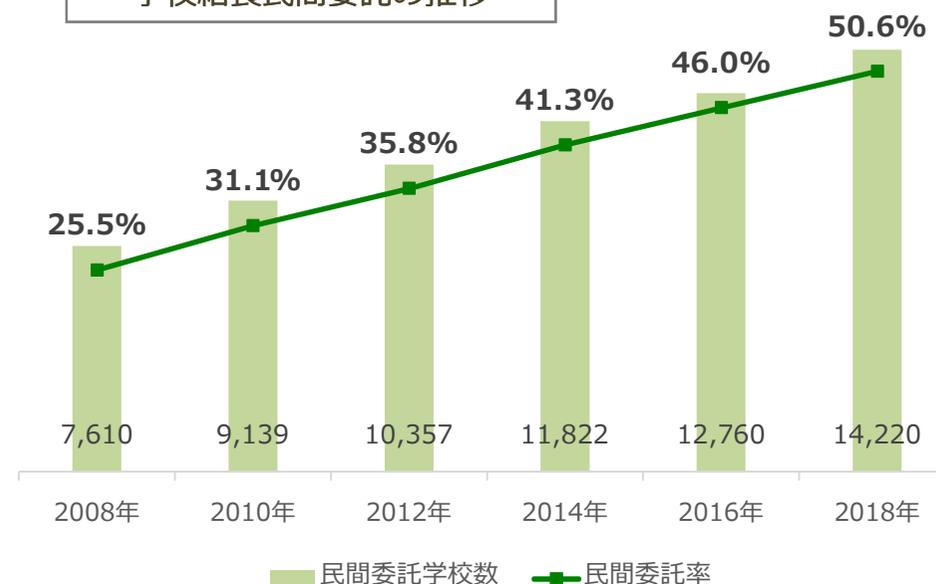
出所：全国学童保育連絡協議会「学童保育実態調査」

※厚生労働省令「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」（2014年4月策定）では、「放課後児童支援員を、支援の単位ごとに2人以上配置」「一の支援の単位を構成する児童の数は、おおむね40人以下」と定められ、2015年調査から「支援の単位」を学童保育の基礎的な単位であると考え「支援の単位」数を集計

社会サービス事業（学校給食）

おおよそ4,500億円の市場規模であり、今後も民間委託化が進むと見込まれる成長市場

学校給食民間委託の推移



出所：文部科学省「学校給食実施状況調査」

事業セグメント

アウトソーシングサービスの「3つの基幹事業」で事業セグメントを構成

フードサービス事業 約**1,900**カ所

オフィス 490、工場 240、キャンパス 110、病院 240
福祉施設 370、保育園・幼稚園 160 他

車両運行サービス事業 約**3,600**台

黒塗り車 1,700、公共・コミュニティバス 500
スクールバス 400 他

社会サービス事業 約**2,700** (件)

学童保育 1,100クラス、公立小中学校給食 630カ所
施設・寮業務 280件、観光業務 90件、図書館業務 90件 他

※2021年9月末時点

オンリーワンの強み トータル・アウトソーシングを全国区で提供可能

参考データ集

21年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コトワカ店舗数	増加		16	5	2	1	2	2	28	2	0	0	0	12	5	47
	減少		3	2	2	6	1	2	16	7	6	7	10	7	36	89
	残	1,146	1,159	1,162	1,162	1,157	1,158	1,158	1,158	1,153	1,147	1,140	1,130	1,135	1,104	1,104
フードサービス事業 メイトール店舗数	増加		25	0	0	4	1	0	30	2	2	4	3	2	3	46
	減少		0	0	3	0	1	0	4	0	1	0	1	1	15	22
	残	696	721	721	718	722	722	722	722	724	725	729	731	732	720	720
車両運行サービス事業 管理台数	増加		176	13	10	16	14	20	249	19	10	13	4	8	7	310
	減少		128	15	6	17	11	5	182	34	12	23	18	4	14	287
	残	3,567	3,615	3,613	3,617	3,616	3,619	3,634	3,634	3,619	3,617	3,607	3,593	3,597	3,590	3,590
社会サービス事業 管理人員	増加		4,213	281	1,189	133	345	285	6,446	419	209	232	109	230	1,370	9,015
	減少		1,221	139	228	240	169	200	2,197	147	151	187	131	149	1,048	4,010
	残	10,726	13,718	13,860	14,821	14,714	14,890	14,975	14,975	15,247	15,305	15,350	15,328	15,409	15,731	15,731

22年3月期		期首	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	期末
フードサービス事業 コトワカ店舗数	増加		12	2	3	2	0	2	21	2	2	3				28
	減少		2	3	5	6	4	7	27	2	5	5				39
	残	1,104	1,114	1,113	1,111	1,107	1,103	1,098	1,098	1,098	1,095	1,093	1,093	1,093	1,093	1,093
フードサービス事業 メイトール店舗数	増加		33	2	0	7	0	1	43	3	2	0				48
	減少		0	0	2	1	1	2	6	0	2	1				9
	残	720	753	755	753	759	758	757	757	760	760	759	759	759	759	759
車両運行サービス事業 管理台数	増加		158	19	13	21	11	24	246	13	17	12				288
	減少		136	39	9	16	15	11	226	13	5	7				251
	残	3,590	3,612	3,592	3,596	3,601	3,597	3,610	3,610	3,610	3,622	3,627	3,627	3,627	3,627	3,627
社会サービス事業 管理人員	増加		895	665	740	399	494	458	3,651	148	153	50				4,002
	減少		248	209	225	203	274	385	1,544	270	254	186				2,254
	残	15,731	16,378	16,834	17,349	17,545	17,765	17,838	17,838	17,716	17,615	17,479	17,479	17,479	17,479	17,479

免責事項

- 本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
- 本資料に掲載されている事項は、シダックスグループの財務情報および経営情報の提供を目的としたもので、当社が発行する株式の購入、売却および投資アドバイスを目的としたものではありません。投資に関する決定は、ご自身の責任、判断のもとになされますようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている事項には、当社に関する将来予測や業績予測が記述されていますが、将来の業績を保障するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、異なる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料に掲載されている事項または、本資料を利用することで生じたいかなる損失や損害に対しても、当社は一切責任を負うものではありません。また、予告なしに情報の掲載中止や変更を行うことがあります。

